

2020年12月期第2四半期決算参考資料

2020年8月5日

グリーンランドリゾート株式会社

(証券コード: 9656)

<http://www.greenland.co.jp/>

(ご注意)

本資料で記述されている業績予想や今後の計画等は、現時点で入手可能な情報による判断に基づいております。今後、将来の事業を取り巻く環境が大きく変動するリスクや不確実性が存在します。

従いまして、業績予想や今後の計画等の実現を保証するものではありません。

目次

1. 2020年12月期第2四半期連結決算(累計).....	3
2. 2020年12月期通期連結業績予想.....	6
3. 業績推移.....	7
4. 2020年12月期第2四半期末配当の件.....	8
5. 下期の具体的取組.....	9

1. 2020年12月期第2四半期連結決算(累計)

① 連結決算概要

(単位:百万円)

	2020年	2019年	増減	増減率(%)
売上高	1,650	4,255	△2,605	△61.2%
売上総利益	△246	700	△947	—
営業利益	△517	406	△924	—
経常利益	△477	403	△881	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	△472	274	△747	—

当第2四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、個人客から団体客に至るまで、全体的な外出自粛が広がりを見せました。

また、当社グループにおきましても遊園地事業やホテル事業の一部の事業所が、ゴールデンウィークを含めた期間に臨時休業を余儀なくされる状況となるなど多大な影響を受けました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、各事業所において利用者数が大きく減少したため、低調に推移しました。

② セグメント別売上高・損益

第2四半期連結累計期間	売上高			セグメント損益		
	2020年	2019年	増減	2020年	2019年	増減
遊園地	651	2,510	△1,858	△155	480	△636
ゴルフ	381	498	△116	△42	19	△62
ホテル	363	945	△581	△259	△21	△238
不動産	79	78	0	53	59	△6
土木・建設資材	174	222	△48	45	30	14
消去又は全社	—	—	—	△158	△162	4
合計	1,650	4,255	△2,605	△517	406	△924

【遊園地】

売上高: 九州の遊園地は、ゴールデンウィークを含めた期間において臨時休園したほか、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向け、予定していた一部イベントの開催を見送るなどの対応を行いました。

また、個人客から団体客に至るまで、全体的な外出自粛が広がりを見せ、学校団体利用の中止や延期もあり、利用者数が減少しました。

北海道の遊園地も新型コロナウイルス感染症の影響によりオープン時期が6月初旬までずれ込み、開園期間が短縮された影響もあり利用者数が減少しました。

この結果、売上高は1,858百万円の減収となりました。

セグメント損益: 売上高の減少に伴い、155百万円のセグメント損失(前年同期は480百万円の利益)となりました。

【ゴルフ】

売上高: 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による貸切コンペを中心とした大型コンペの中止や秋季への延期に加え、一時は県境を越える移動も制限されたことが集客面に大きな打撃を与えた結果、売上高は116百万円の減収となりました。

セグメント損益: 売上高の減少に伴い、42百万円のセグメント損失(前年同期は19百万円の利益)となりました。

② セグメント別売上高・損益（前ページより続き）

【ホテル】

売上高: 九州のホテルは、ゴールデンウィークを含む期間において臨時休館を実施したことで宿泊部門が低調に推移したことに加え、料飲部門や宴会部門への新型コロナウイルス感染症拡大が大きく影響し、利用者数が減少しました。北海道のホテルも新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きく、宴会部門を含め利用者数が減少しました。この結果、売上高は581百万円の減収となりました。
セグメント損益: 売上高の減少に伴い、238百万円の損失増となりました。

【不動産】

売上高: ほぼ前年並みの売上高となりました。
セグメント損益: 売上原価の増加に伴い、6百万円の減益となりました。

【土木・建設資材】

売上高: ポゾテックの販売が好調だったほか、バイオマス火力発電所への燃料投入業務の受託が堅調に推移したものの、客土用土の販売が減少したため、売上高は48百万円の減収となりました。
セグメント損益: 売上原価の減少に伴い、14百万円の増益となりました。

2. 2020年12月期通期連結業績予想

(単位:百万円)

	2020年予想	2019年実績	増減	増減率
売上高	4,000	8,359	△4,359	△52.2%
営業利益	△770	684	△1,454	—
経常利益	△660	691	△1,351	—
親会社株主に帰属する当期純利益	△620	386	△1,006	—

上記業績予想の数値は、現時点において得られた情報に基づき算出したものであり、今後の経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、実際の業績は上記予想の数値と異なる場合があります。

3. 業績推移



① 通期

(単位:百万円)

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年 予想
売上高	7,061	7,664	7,810	8,359	4,000
売上総利益	843	1,090	1,139	1,274	—
営業利益	257	444	564	684	△770
経常利益	230	422	548	691	△660
親会社株主に帰属 する当期純利益	142	267	301	386	△620

② 第2四半期 (累計)

(単位:百万円)

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
売上高	3,111	3,781	3,695	4,255	1,650
売上総利益	183	532	472	700	△246
営業利益	△105	214	178	406	△517
経常利益	△114	200	167	403	△477
親会社株主に帰属 する四半期純利益	△86	136	120	274	△472

4. 2020年12月期第2四半期末配当の件

当社は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う当第2四半期連結累計期間の業績悪化を受け、2020年12月期第2四半期末の配当金につきましては、2020年8月5日開催の取締役会にて無配とすることを決定いたしました。
 なお、直近5事業年度の1株当たりの配当金の推移は下記のとおりです。

(参考)直近5事業年度の1株当たりの配当金の推移

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
第2四半期末	3円00銭 普通配当3円00銭	5円00銭 普通配当4円00銭 特別配当1円00銭	5円00銭 普通配当5円00銭	7円00銭 普通配当5円00銭 特別配当2円00銭	0円00銭
期 末	5円00銭 普通配当5円00銭	6円00銭 普通配当5円00銭 特別配当1円00銭	7円00銭 普通配当5円00銭 特別配当2円00銭	7円00銭 普通配当6円00銭 特別配当1円00銭	0円00銭 ※
年 間	8円00銭 普通配当8円00銭	11円00銭 普通配当9円00銭 特別配当2円00銭	12円00銭 普通配当10円00銭 特別配当2円00銭	14円00銭 普通配当11円00銭 特別配当3円00銭	0円00銭 ※

※2020年期末配当及び年間配当につきましては、2020年8月5日時点における予想額となります。

5. 下期の具体的取組



【遊園地事業】

①グリーンランド(九州)

◆「新・絶叫スタイル！」キャンペーン

こんな時だからこそ遊園地を楽しんで欲しいとの思いから、ご来園いただいたお客様全員に、絶叫の口の形をした「絶叫マスクシール(5種類)」をプレゼント！

特にジェットコースターなどのスリルライドでは、このシールをマスクに貼って、見ている周りのお客様も一緒になって楽しんでいただいております。

◆夏イベント

・「クレヨンしんちゃんワールド ラクガキングダムとワクワク！グリーンランドだゾ！」

(7月5日(日)、12日(日)、19日(日)、23日(木・祝)～7月26日(日)、
8月2日(日)、8日(土)～16日(日)、23日(日))

・「仮面ライダーゼロワン スペシャルショー」

(8月9日(日)～10日(月・祝)、13日(木)～16日(日)、23日(日))

・「ヒーリングっど♡プリキュアショー」

(8月2日(日)、8日(土)、22日(土))

・「サマーナイト打上げ花火ショー」

(8月13日(木)～15日(土))

・イルミネーションイベント「ワンダーイルミネーション」

(8月13日(木)～15日(土))

・「タマホームプレゼンツ 疫病退散祈念花火～千の花火に願いを込めて～」

(8月17日(月))

【遊園地事業】

②北海道グリーンランド遊園地

- ・花火大会(秋開催予定)
- ・リアル脱出ゲーム(秋開催予定)
- ・トラックマスターズ(9/27)

【キャラクターショー】

- ・「おしりたんてい ププッ レインボーダイヤを探せ」(7月25日～26日)
- ・「仮面ライダーゼロワンショー」(7月23日・8月8日、9日、23日)
- ・「魔進戦隊キラメイジャーショー」(7月24日・8月10日～11日)
- ・「ヒーリングっど♡プリキュアショー」(7月19日・8月2日、12日～14日、30日・9月21日、27日)
- ・「すみっコたちがやってくる～いっしょに踊ろうすみっコぐらし音頭～」(8月15日)
- ・「仮面ライダーゼロワン&ジオウショー」(8月16日)
- ・「プリキュアオールスターズがやってくる！」(9月6日)
- ・「仮面ライダー大集合！！」(9月13日)
- ・「仮面ライダーセイバーショー」(9月19日、20日)
- ・「それいけ！アンパンマンショー」(8月1日・9月22日)

【ゴルフ事業】

- グリーンランドリゾートゴルフコースでは、36ホールを有する強みを活かし、お客様のニーズに合わせて、スループレープランの利用拡大により集客を図る
また、同コースの友の会会員特典を拡充し、更なるリピーター獲得を図る
- メンバーズゴルフ場の有明カントリークラブ大牟田ゴルフ場ならびに久留米カントリークラブ広川ゴルフ場では、好評なナビゲーションシステムに加え、ゴルフカートの一部コース内への乗り入れを促進して、利便性の高いプレー環境を提供
- 両メンバーズゴルフ場で、ポイントカードシステムをPRし、グリーンランドリゾートグループ各施設利用券や取扱商品の特典として、利用促進を図る。(各コースメンバーの相互コース利用時に対応)
- 各コースにおいて、季節毎にテーマを持たせ、趣向を凝らしたオープンコンペを定期的に開催し、幅広い層の利用促進を図る
- 樹木の剪定・伐採のほか、カート道路補修などのコース整備に注力し、顧客満足度向上を図る

【ホテル事業】

ホテルブランカ・ヴェルデ

- 両ホテルにおいては、遊園地やゴルフ場にアクセスが良いという強みを活かした宿泊プランの造成や各種観光需要喚起キャンペーンの利用促進により集客拡大を図る

【ホテルブランカ】

- ・遊園地を望むテラス付きの部屋でのバーベキューや屋上庭園「シエロガーデン」の活用など、幅広い魅力のPRに取り組む

【ホテルヴェルデ】

- ・インバウンド客の回復が見通せない状況であることから、遊園地ご利用のファミリー客に加え、ビジネス客から団体客まで幅広いニーズに応えた宿泊プラン造成に注力
- ・各レストランにおいて、新メニューや季節毎の料飲イベント開催によるリピーター拡大を図る
- ・地酒・地焼酎の会、カニ祭りなど、特色のある企画を打ち出し、きめ細かいサービスにより、各種団体ご利用の促進を図る

ホテルサンプラザ・北村温泉ホテル

【サンプラザ】

- ・どうみん割やGoToキャンペーンなどの観光需要喚起キャンペーンを最大限に活用した各種プランの造成により、ファミリー客や団体客の取り込みに注力
- ・料飲部門では、完全予約制のビアガーデンイベント開催やGoToイートキャンペーンを活用した企画により集客拡大を図る

【北村温泉】

- ・現在は休館し、本年7月から来年2月末にかけての大規模リニューアルを行っており、機能的に刷新された各種設備とともに、心のこもったサービスで更なる顧客獲得を図っていく

【不動産事業】

- ・新規テナントの誘致をはじめとする、社有地の有効活用推進によるグリーンランドリゾートエリアの活性化
- ・グリーンランドリゾートエリアの変遷
 - 1966年 7月 三井グリーンランド遊園地営業開始
 - 1966年 9月 三井グリーンランドゴルフ場営業開始
 - 1968年 9月 三井グリーンランドホテル営業開始
 - 1994年10月 ホテルヴェルデ営業開始
 - 1995年 6月 モナコパレスグリーンランド店オープン
 - 1997年 7月 KKT住宅展示場オープン
 - 2003年11月 ヌルボンガーデン荒尾オープン
 - 2005年 4月 パスカワールドグリーンランド店オープン
 - 2006年11月 グリーンスマイル1番館オープン
 - 2008年 4月 グリーンスマイル2番館オープン
 - 2011年 9月 ナフコ荒尾東店オープン
 - 2013年 4月 大規模太陽光発電施設(メガソーラー) 供用開始
 - 2017年 4月 セブン-イレブン グリーンランド北店オープン
 - 2018年 9月 賃貸アパート(1棟4戸)事業開始

【土木・建設資材事業】

- ・堅調なバイオマス火力発電所への燃料投入業務の受託の推進
- ・ポゾテックの処理受託及び販売促進
- ・新たな土木・建設資材の再生事業への取り組み